



ソーラーキットの暮らし方ガイド

お手入れ編

Refrair
【リフレア】

換気空調：換気システム

(外気処理換気システム)

Refrair

【リフレア】

目次

清掃前の安全のために必ず守ること①	2
清掃前の安全のために必ず守ること②	3
フィルターの構成	4
お手入れの時期(お知らせ機能)	5
排気フィルターのお手入れ方法	6
外気フィルターユニットの取り外し方法	7
防虫フィルターのお手入れ方法	8
高性能エアフィルターのお手入れ方法	9
外気フィルターユニット台のお手入れ方法	10
外気フィルターユニットの組み立て方法	11
外気フィルターユニットの取り付け方法	12
吸込グリルの取り付け方法	13
フィルターサインリセットを行う	14

清掃前の安全のために必ず守ること①

Refrair





【リフレア】

安全のために必ず守ること

注意事項

換気の機能を長く維持していただくためには、フィルターに付着したごみや、ほこりを定期的に清掃してください。

以下は誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。	 注意 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。
■ お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。	
 「してはいけないこと」を表しています。	 「しなければならないこと」を表しています。

警告

電源は



禁止

- めれた手で電源の「入」「切」や操作はしない。(感電の原因)
- 電線の継ぎ足しはしない。(火災の原因)
- 破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない。(感電や火災の原因)

お手入れ時は



禁止

- お客様自身で、工具を使った分解掃除や改造、内部の洗浄はしない。(水漏れや破損、故障、発煙、発火の原因)
換気ユニット内部の洗浄には、専門技術が必要です。お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

ご使用時は



禁止

- 吸入口や吹出口に指や棒などを入れない。(けがや故障の原因)
- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。(感電や引火の原因)
- 腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない。(引火や本体への吸引による発火や発煙の原因)



必ず実施

- 洪水・台風などで換気ユニットや室外ユニットが水没したときは、すぐに電源ブレーカーを遮断し、お買い上げの販売店に相談する。(故障や感電、火災などの原因)

据付け・移設・修理時は



禁止

- 室外ユニットに表示の冷媒(R32)以外は使用しない。(故障や破損、けがなどの原因)
- お客様自身で本体、リモコンの据付けや移動、修理、再設置はしない。(感電や火災、けがなどの原因)
必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。



必ず実施

- アースや漏電遮断器が設置されていることを確認する。(感電や火災などの原因)
- 必ず外気処理換気システム専用のブレーカーを使う。(他の機器と併用すると、発熱による火災の原因)
- 除湿しない、温風が出ない場合は、冷媒漏れが原因の一つと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。
冷媒追加を伴う修理の場合は、冷媒漏れがないことをサービスマンに確認してください。(冷媒は安全で、通常は漏れませんが、万一室内に漏れ、ファンヒーターやコンロなどの火気に触れると、有害な生成物発生の原因となります)
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置されていないか確認する。(万一ガスが漏れると、発火の原因)
- ドレンホースが確実に排水するように配管されているか確認する。(不確実な場合、家財などをぬらす原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止する



必ず実施

- 異常・故障例
- 電源コードが異常に熱い。
 - こげ臭いニオイがする。
 - ブレーカーがひんぱんに落ちる。
 - 本体から水が漏れる。
- (異常のまま運転を続けると故障や感電、発煙、火災などの原因)
すぐに運転を停止し、ブレーカーを切ってお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

清掃前の安全のために必ず守ること②

Refrair

【リフレア】

安全のために必ず守ること

注意事項

⚠ 注意

換気ユニットは



- 動植物に直接風をあてない。
(動植物に悪影響を及ぼす原因)
- 精密機器や食品、美術品の保存、動植物の飼育や栽培などに使用しない。
(品質低下などの原因)
- 本体の下に、他の電気製品や家財などを置かない。
(水滴が落ちて、汚損や故障の原因)
- 発煙タイプの殺虫剤や防カビ剤を使用するときは運転しない。殺虫剤や防カビ剤の使用後は、窓を開けて十分換気してから運転する。
(蓄積した薬剤成分が、吹出口から放出され、健康を害する原因)
- 吹出口の風が直接あたるところで燃焼器具を使わない。
(不完全燃焼の原因)
- 本体の近くで暖房器具を使わない。
(吸込グリル・吹出グリル・フィルターなどの変形の原因)
- 吹出口の近くにスプレー缶などを置かない。
(本体からの温風によりスプレー缶などが爆発する原因)
- 吹出グリルや吸込グリルをふさがない。
(部屋全体に風が行き渡らず換気不足で酸欠となり、体調悪化・健康障害の原因)



リモコンは



- リモコンで遊ばせない。
(誤操作による体調悪化や健康障害の原因)
- リモコンは絶対に分解しない。
(感電や故障の原因)
内部の点検調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。

ご使用時は



- フィルターを抜いたままで運転しない。
(全熱交換エレメントにゴミやホコリが詰まり、性能低下・故障の原因)

お手入れ時は



- 不安定な台に乗らない。
(転倒など、けがの原因)
- 消臭剤などのスプレーを吹きかけない。
(故障の原因)



- 必ず運転を停止し、ブレーカーを切る。
(ファンが高速で回転しているため、けがの原因)

ストリーマ放電について

- 微量のオゾンが発生するため、吹出口からニオイがすることがありますが、ごくわずかであり、健康に支障はありません。

室外ユニットは



- アルミ部分に触らない。
(手を切る原因)
- ユニットのの上に乗ったり、ものを載せたりしない。
(ベランダなどの高い場所に設置の場合、転落の原因)
- 据付台が破損したまま、放置しない。
(落下や転倒によるけがの原因)

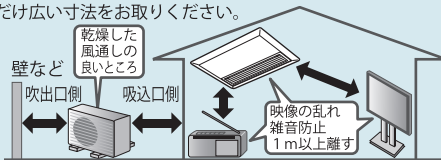


- ユニットの周辺に、ものを置いたり、落ち葉などがたまらないようにする。
(虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因)

必ず実施

換気ユニット・室外ユニット周辺の確認

- 図の距離をあげないと、外気処理換気システムの能力が低下したり、テレビやラジオに雑音が入るおそれがあります。
- 設置場所に余裕があれば、効率の良い運転のために、できるだけ広い寸法をお取りください。



- 火災警報器と換気ユニットの吹出口は1.5m以上の距離をあげてください。なお、火災警報器が誤作動するおそれがあるため、換気ユニットの風が直接あたらないようにしてください。
- 調理室など油煙の多いところでのご使用は避けてください。換気ユニット内部に油が付着し、水漏れの原因となります。
- 床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないでください。換気ユニット内部にワックスの成分が付着し、水漏れの原因となります。ワックス塗布後は窓を開けて十分に換気を行ってから運転してください。

- 加湿器などを近くでご使用になるときはご注意ください。加湿の種類によっては水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどの化合物が水と一緒に放出される場合があり、蒸発すると白い粉になります。このような水分が換気ユニット内部に入ると汚れの原因になります。
- 外気処理換気システムを数シーズンで使用後は、通常のお手入れとは別に点検整備を行ってください。ドレンの排水経路が詰まると、換気ユニット内部からの水漏れの原因となります。点検整備には専門の知識と技術が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。
- 据付説明書にしたがわない施工工事や改造製品については、保証の対象外となります。
- 弊社カタログ記載の別売品以外の市販品を取り付けて運転することは避けてください。
(結露、異音などの原因)

フィルターの構成

Refrair

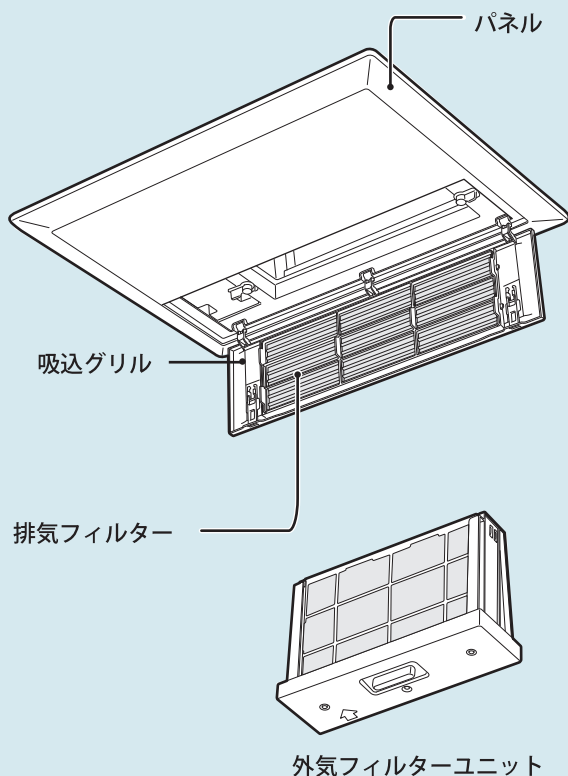
【リフレア】

警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。

注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

フィルターの構成

参考



排気フィルター

品番：2545193



ウェブサイト「リモコン・フィルター等のご購入」

ご使用環境により汚れがひどくなった場合、
お買い上げの販売店または
ウェブサイト「リモコン・フィルター等のご
購入」からお申し込みください。

<https://ec.daikinaircon.com/betubai2/index.html>

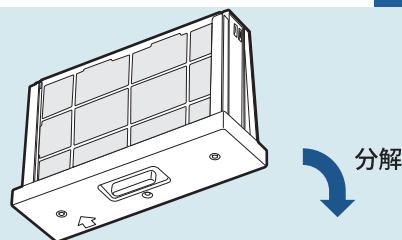
右記QRコードからもウェブサイトをご覧ください。

高性能エアフィルター(材質：ポリエステル)はお住まいの
地域のゴミ分別方法にしたがって処分してください。



外気フィルターユニットの説明

参考



防虫フィルター(黒色)

品番：2545194



※写真は類似品を
掲載しています。

高性能エアフィルター

品番：KAFP106A4

標準仕様で高性能エア
フィルターを取りつけて
います。※1
「PM2.5」※2に対応。
0.3 μm粒子を80%以上
キャッチします。※3



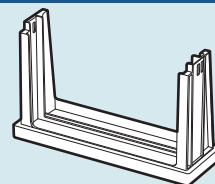
※1 水洗いできません。

※2 PM2.5とは2.5 μm以下の微小粒子状物質の総称です。

※3 数値は、フィルターの性能試験に基づく性能であり、実機の性能とは異なります。このフィルターでは0.3 μm未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質の全てを除去できるものではありません。

外気フィルターユニット台

フィルター枠(防虫フィルター
付)を取付け、ほこりや結
露水の落下を防ぎます。

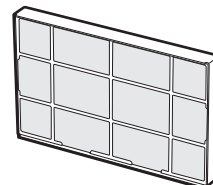


※以下はソーラーサーキットの仕様では使用しません。

外気フィルター(白色)

品番：KAF106A4

施工時に高性能エアフィル
ターと交換しています。
ソーラーサーキットは
標準仕様で高性能エア
フィルターを取りつけて
います。



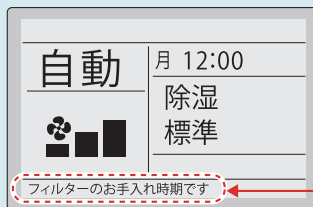
お手入れの時期(お知らせ機能)

Refrair

【リフレア】

①リモコンの「フィルターのお手入れ時期です」が表示したら

確認



●「フィルターのお手入れ時期です」表示は、ご使用状況により表示されるまでの時間が変わります。

②フィルターランプが点滅したら 確認



年4回
フィルターランプが点滅して
フィルターの清掃を促します。

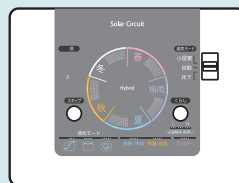


- 点滅期間 10日間
- 点滅時期 年4回
春になる頃/梅雨のなかば
秋が近づいた頃/年末

●春と秋のフィルター点滅時期は地域設定により異なります。

●フィルター清掃の目安となります。
実際のフィルターメンテナンスは約3か月ごとに行ってください。

③SCナビゲーターのフィルターランプ点滅解除 操作



点滅解除は「くらし」ボタンを5秒以上長押し

排気フィルターのお手入れ方法

Refrair

【リフレア】

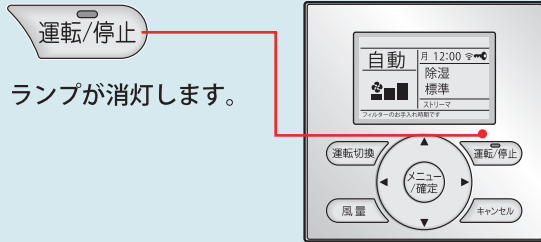
排気フィルターの清掃は**3か月に1回以上**お願いします。

警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。

注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

①リモコン・ブレーカーを切る **操作**

1. リモコンを4秒以上長押しし、「停止」にする。

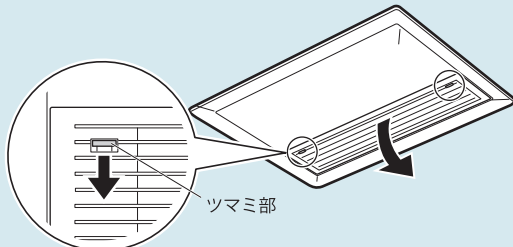


2. ブレーカーを「切」にする。



②吸込グリルを開く **分解**

吸込グリルのツマミ部（2カ所）を押して、吸込グリルを開く。

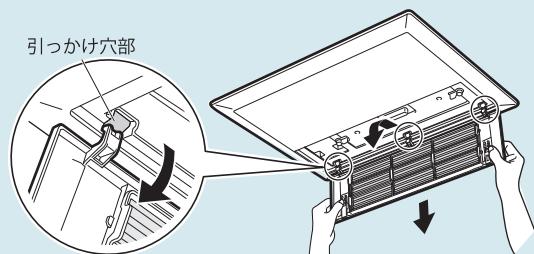


お願い

●吸込グリルを開くときは、ホコリ・ゴミなどが目に入らないように注意してください。

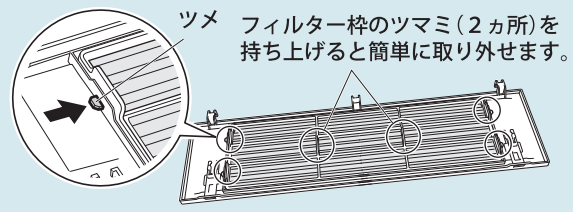
③吸込グリルを取り外す **分解**

吸込グリルを持って、パネルのひっかけ穴部（3カ所）から持ち上げて取り外す。



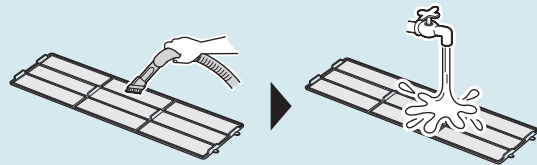
④排気フィルターを取り外す **分解**

排気フィルターのツメ（4カ所）を吸込グリルから取り外す。

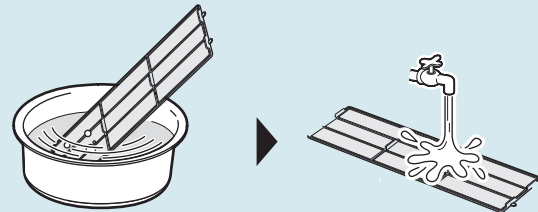


⑤お手入れする **清掃**

掃除機でホコリを吸い取った後、水洗いし、日陰でよく乾かす



汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきし、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いしてから日陰でよく乾かす。



お願い

●排気フィルターを火やドライヤーなど、熱のあるもので乾かさなでください（変形や破損の原因）。

外気フィルターユニットの取り外し方法

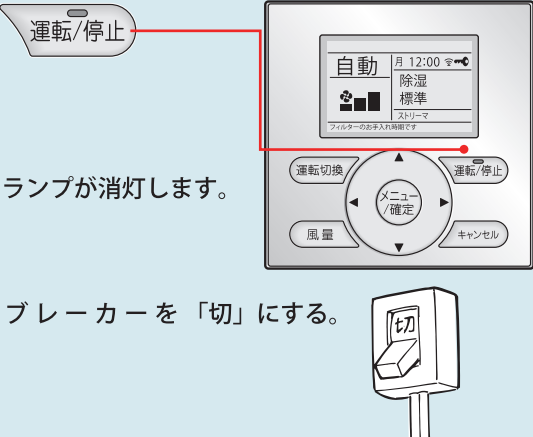
Refrair

【リフレア】

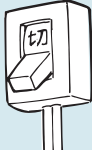
- 警告** ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。
- 注意** ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

①リモコン・ブレーカーを切る 操作

1. リモコンを4秒以上長押しし、「停止」にする。

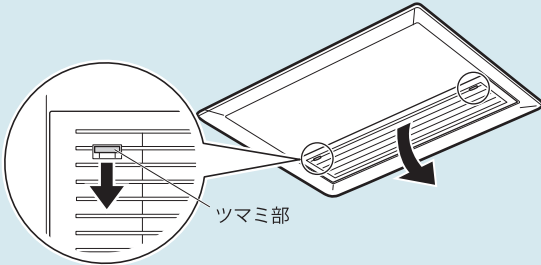


2. ブレーカーを「切」にする。



②吸込グリルを開く 分解

吸込グリルのつまみ部(2カ所)を押して、吸込グリルを開く。

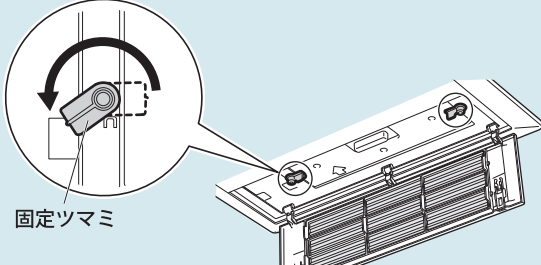


お願い

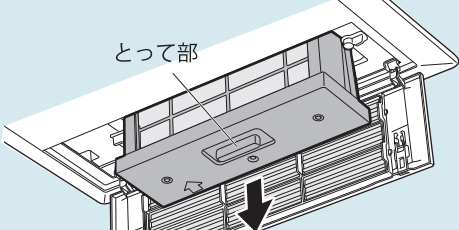
- 吸込グリルを開くときは、ホコリ・ゴミなどが目に入らないように注意してください。

③外気フィルターユニットを取り外す 操作

1. 外気フィルターユニットの固定つまみ(2カ所)を回し、固定を解除する。



2. 外気フィルターユニットのとって部を持って、下に引き出す。



お願い

- 外気フィルターユニットを引き出すときは、ホコリ・ゴミなどが目に入らないように注意してください。また使用環境により結露水が溜まることもありますのでこぼしたり、かぶらないように注意してください。
- 外気フィルターユニットは逆さまにしないでください(フィルター落下の原因)。

防虫フィルターのお手入れ方法

Refrair

【リフレア】

防虫フィルターの清掃は**3か月に1回以上**お願いします。

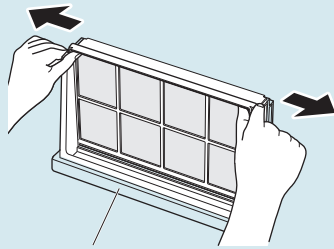
⚠️ 警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。

⚠️ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

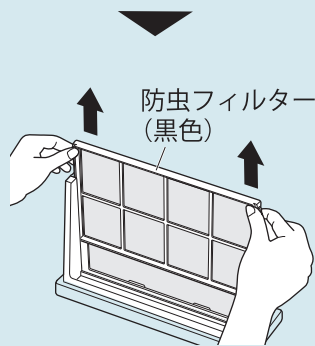
①防虫フィルターを取り外す

分解

外気フィルターユニット台を左右に開きながら、
防虫フィルターを上押し上げて外す。



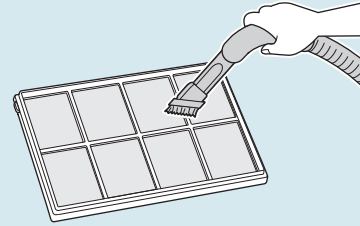
外気フィルターユニット台



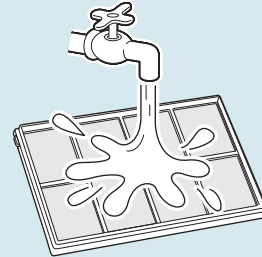
②お手入れする

清掃

1.掃除機でホコリを吸い取る。



2.水洗いし、日陰でよく乾かす



※汚れがひどいときは、やわらかいブラシや台所用中性洗剤で洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いしてから日陰でよく乾かす。

高性能エアフィルターのお手入れ方法

Refrair

【リフレア】

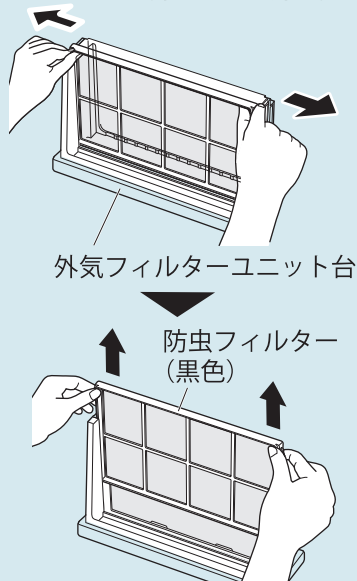
高性能エアフィルターの清掃は3か月に1回以上お願いします。 水洗い不可

⚠ 警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。

⚠ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

①防虫フィルターを取り外す 分解

外気フィルターユニット台を左右に開きながら、防虫フィルターを上押し上げて外す。

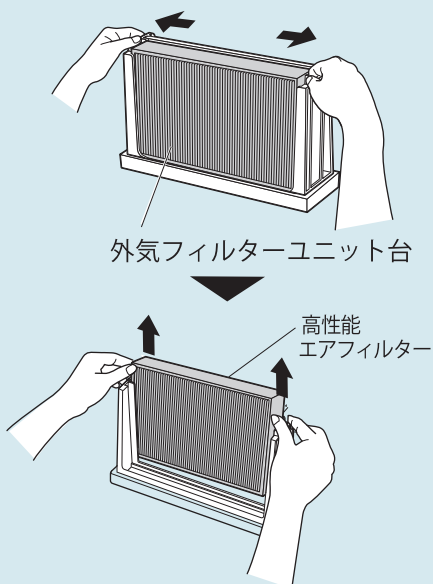


外気フィルターユニット台

防虫フィルター
(黒色)

②高性能エアフィルターを取り外す 分解

外気フィルターユニット台を左右に開きながら、高性能エアフィルターを上押し上げて外す。

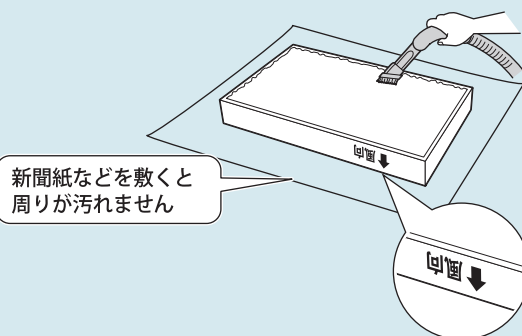


外気フィルターユニット台

高性能
エアフィルター

③お手入れする 清掃

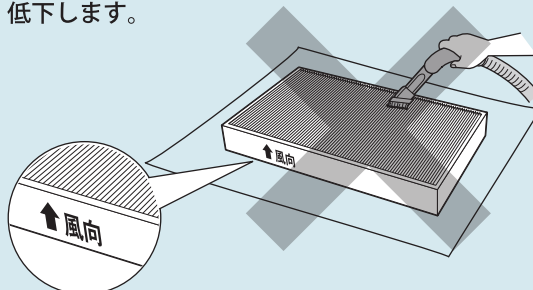
風上側の面のホコリを掃除機で軽く吸い取る。
水洗いは禁止 (水洗いすると使用できなくなります)



新聞紙などを敷くと
周りが汚れません

お願い

- 風下側の面のフィルターは破れやすいので、掃除機をあてないでください。
- フィルターが破損して、穴が開くなどした場合、ホコリがフィルターを通りぬげるため、集塵性能が低下します。



交換の目安：約1年

フィルター種類	品番
高性能エアフィルター	KAFP106A4

外気フィルターユニット台のお手入れ方法

Refrair

【リフレア】

外気フィルターユニット台の清掃は**3か月に1回以上**お願いします。 水洗い不可

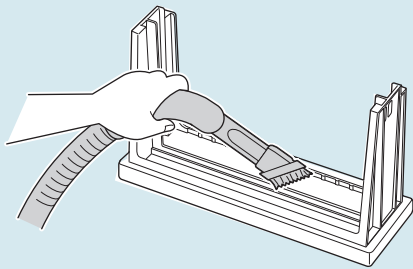
⚠ 警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。

⚠ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

①お手入れする

清 掃

外気フィルターユニット台の溝、表面のホコリを掃除機で吸い取る。



お願い

- 先端のとがったノズルを取り付けた掃除機で掃除しない。(ノズルの先端で破損のおそれ)
- 水洗いはしない。

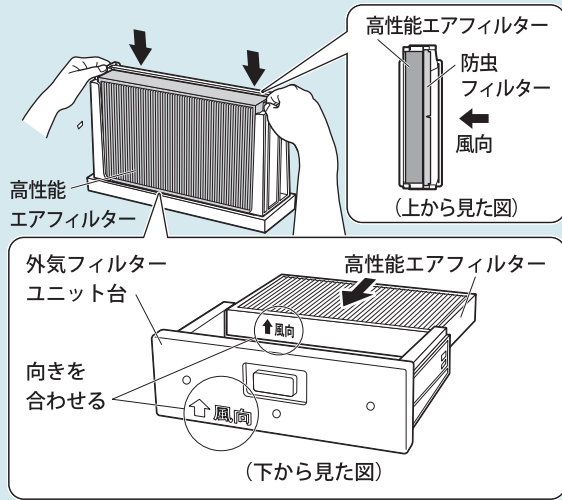
外気フィルターユニットの組み立て方法

Refrair 【リフレア】

警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。
●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
注意 ●お手入れの際は手袋を着用する。
●お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

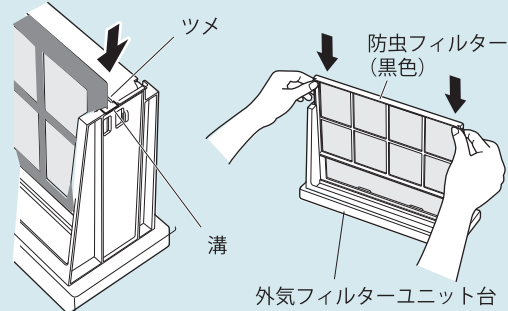
①高性能エアフィルターを取り付ける **取付**

外気フィルターユニット台の「↑風向」と向きを合わせて取付ける。

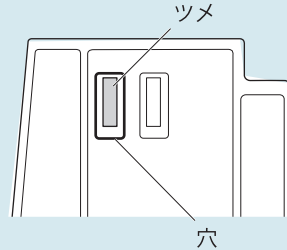


②防虫フィルターを取り付ける **取付**

1.防虫フィルターのツメを上にして、外気フィルターユニット台の溝に沿って差込む。



2.防虫フィルターのツメが外気フィルターユニット台の穴に固定されていることを確認する。



外気フィルターユニットの取り付け方法

Refrair

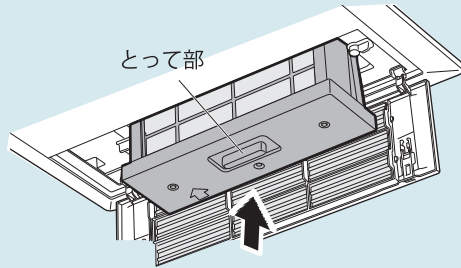
【リフレア】

⚠ 警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。

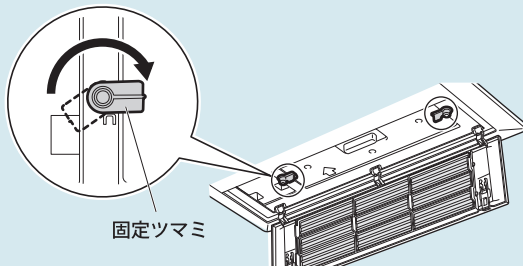
⚠ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。
●お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

①外気フィルターユニットを取り付ける **取付**

1.外気フィルターユニットのとって部を持って、本体に取り付ける。



2.外気フィルターユニットの固定ツマミ(2カ所)を回し、必ず固定する。



お願い

●外気フィルターユニットは逆さまにしないでください(フィルターの落下の原因)。

吸込グリルの取り付け方法

Refrair

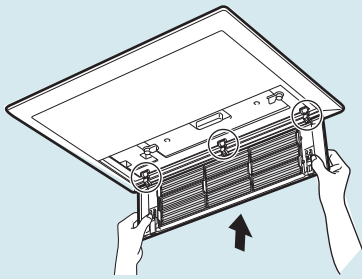
【リフレア】

- ⚠ 警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。
- お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
- ⚠ 注意 ●お手入れの際は手袋を着用する。
- お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

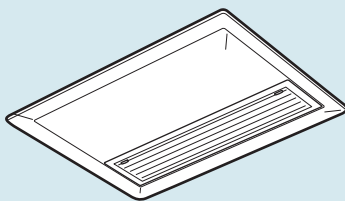
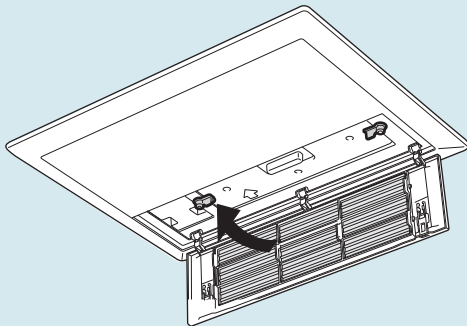
①排気フィルター・吸込グリル を取り付けて閉じる

組立

1. 吸込グリルを持って、パネルのひっかけ穴部(3カ所)に取付ける。



2. 吸込グリルを閉じ、固定する。



フィルターサインリセットを行う

Refrair

【リフレア】

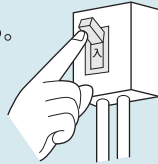
全てのフィルターの清掃が終了したらフィルターサインリセットを行います。

警告 ●お手入れの際は必ずリモコン・ブレーカーを切る。

注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

①リモコン・ブレーカーを入れる 操作

1. ブレーカーを「入」にする。



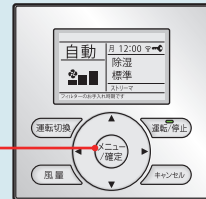
2. リモコンを「運転」にする。

運転/停止
ランプが点灯します。

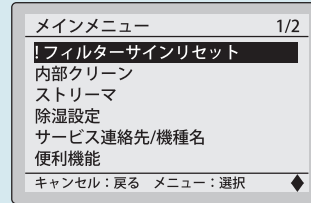


②フィルターサインリセットを行う 操作

1. **メニュー/確定** を押す。



2. メインメニューから **!フィルターサインリセット** を選んで **メニュー/確定** を押す。



※フィルターサインリセットは「フィルターのお手入れ時期です」が表示されたときのみ、メインメニュー内に表示されます。

お願い

- 外気フィルターユニット、排気フィルターを抜いたままで運転しないでください。全熱交換エレメントにゴミやホコリが詰まり、性能が低下し故障の原因になることがあります。
- 別売品の外気フィルター、高性能エアフィルター以外のものを取り付けしないでください。性能低下や故障の原因になります。

③SCナビゲーターのフィルターランプ点滅解除 操作



点滅解除は「くらし」ボタンを5秒以上長押し

システム開発・資材供給

株式会社カネカソーラーサーキットのお家

- 各説明図・写真(一部)・イラストなどはイメージであり、撮影や印刷の関係で、実際とは色が異なる場合があります。
- ソーラーサーキット、アウターサーキット、インナーサーキット、SC-SVシステム、SCナビシステム、SCナビ、SCナビゲーター、外断熱・二重通気工法、は株式会社カネカの登録商標です。

〒107-6028 東京都港区赤坂1丁目12番32号(アーク森ビル)
TEL 03-5574-8139 FAX 03-5574-8109

- 品質改善のため、仕様、外観は予告なしに変更することがあります。
- このカタログ内容についてのご不明点は直接当社へおたずねください。

お客さまのお住まいの実際の設計、施工、メンテナンスは、当社のソーラーサーキットの実施権を受けた契約工務店が実施いたします。
詳しくは㈱カネカソーラーサーキットのお家にご相談ください。